

2026年9月9日
SOMPOヘルスサポート株式会社

一人ひとりの「心理特性」に合わせた新たな特定保健指導を実現 ～産総研との共同開発技術を活用したサービスを提供開始～

SOMPOヘルスサポート株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：下川 亮子、以下「当社」）は、2022年度より国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下「産総研」）と共同で、心理特性を取り入れた特定保健指導の開発を進めてきました。これまでに2回の実証実験を実施し、その有効性が確認されたことから、本技術を活用したサービスの提供を開始します。

1. 概要

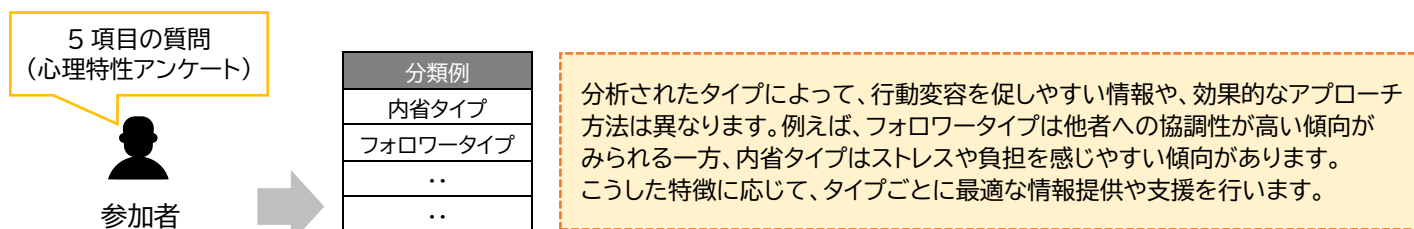
当社は、産総研が大規模アンケートデータを基に構築したクラスタリング技術を活用し、保健指導対象者の心理特性に応じた効果的なアプローチを提供します。

本技術では、対象者の回答データから心理特性を分析し、その特性に応じて行動変容を促しやすい情報提供やコミュニケーション手法を選択します。これにより、従来のアプローチでは十分な効果を得られにくかった対象者に対しても、価値観や行動傾向等の特性に応じた、より効果的な働きかけを行うことが可能となります。

本サービスの導入により、保健指導に対する納得感や実践意欲の向上を図るとともに、対象者一人ひとりの特性に応じた行動変容を効果的に支援します。こうしたアプローチを通じて、健康行動の定着や生活習慣の改善を促進し、保健指導の継続率や成果指標の向上など、事業全体のアウトカムのさらなる向上を目指します。

2. 心理特性に応じたアプローチの具体例

本サービスでは、対象者の心理特性を複数のタイプに分類し、それぞれに最適な情報提供や支援を行います。
<「心理特性による分類(クラスタリング)」とは>



(参考)産総研によるオンライン調査・分析をもとにクラスタリング分類を構築



<分類に応じたアプローチ方法とは>

分類例
内省タイプ
フォロワータイプ
..
..

フォロワータイプ

【特徴】他者への協調性が高い。

【アプローチ】

本人への働きかけに加え、家族や同僚など周囲のサポートや協力体制に焦点を当てることで、スムーズな行動変容を促します。



内省タイプ

【特徴】感受性が高くストレスを感じやすい。

【アプローチ】

安心感を与える丁寧な言葉選びを基本としつつ、客観的なリスク提示を行うことで「健康を守りたい」という自発的な行動を引き出します。



3. 提供開始時期

2026年9月の初回面談実施分より提供予定。

【参考情報】

■ 国立研究開発法人 産業技術総合研究所（産総研）について

- ・経済産業省所管の公的研究機関（国立研究開発法人）であり、主に産業技術に関わる研究を行っています。
- ・日本に3組織しかない特定国立研究開発法人の一つであり、100年以上の歴史を持つ研究機関です。
- ・社会課題解決^(*)や産業競争力強化に向けて、約2,300名の在籍研究員と約6,000名の外部人材が活躍しています。

※社会課題：「エネルギー・環境・資源制約」「人口減少・高齢化社会への対応」「レジリエントな社会の実現」

<SOMPOグループとの関わり>

SOMPOグループと産総研は、2021年6月9日に社会課題の解決に向けた「包括的な相互協力に関する協定」を締結しました。2022年4月より、介護領域およびヘルスケア領域において共同研究を開始しています。

以上